

令和3年度
館林市「日本遺産」推進協議会
議案書



議案第 1 号

館林市「日本遺産」推進協議会規約(別表)の改正について

このことについて、下記のとおり規約(別表)を改正してよろしいでしょうか。

1 改正理由

令和3年度より、群馬県邑楽館林振興局が東部振興局(太田市)へ再編されたことに伴い、規約(別表)の改正をするもの。

2 改正内容

別紙、新旧対照表のとおり。

3 改正時期

公布の日から施行し、令和3年4月1日から適用する。

館林市「日本遺産」推進協議会規約(別表)新旧対象表

改正後	改正前																												
<p>別表(第4条関係)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>館林市議会</td></tr> <tr><td>館林市区長協議会</td></tr> <tr><td>館林商工会議所</td></tr> <tr><td>邑楽館林農業協同組合</td></tr> <tr><td>館林市観光協会</td></tr> <tr><td>東武鉄道株式会社</td></tr> <tr><td>有識者(大学教授等)</td></tr> <tr><td>有識者(大学教授等)</td></tr> <tr><td>有識者(大学教授等)</td></tr> <tr><td>館林つつじサポーターズ倶楽部</td></tr> <tr><td style="color: red;">群馬県東部振興局</td></tr> <tr><td>群馬県館林土木事務所</td></tr> <tr><td>館林市</td></tr> <tr><td>館林市教育委員会</td></tr> </table>	館林市議会	館林市区長協議会	館林商工会議所	邑楽館林農業協同組合	館林市観光協会	東武鉄道株式会社	有識者(大学教授等)	有識者(大学教授等)	有識者(大学教授等)	館林つつじサポーターズ倶楽部	群馬県東部振興局	群馬県館林土木事務所	館林市	館林市教育委員会	<p>別表(第4条関係)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>館林市議会</td></tr> <tr><td>館林市区長協議会</td></tr> <tr><td>館林商工会議所</td></tr> <tr><td>邑楽館林農業協同組合</td></tr> <tr><td>館林市観光協会</td></tr> <tr><td>東武鉄道株式会社</td></tr> <tr><td>有識者(大学教授等)</td></tr> <tr><td>有識者(大学教授等)</td></tr> <tr><td>有識者(大学教授等)</td></tr> <tr><td>館林つつじサポーターズ倶楽部</td></tr> <tr><td>群馬県邑楽館林振興局</td></tr> <tr><td>群馬県館林土木事務所</td></tr> <tr><td>館林市</td></tr> <tr><td>館林市教育委員会</td></tr> </table>	館林市議会	館林市区長協議会	館林商工会議所	邑楽館林農業協同組合	館林市観光協会	東武鉄道株式会社	有識者(大学教授等)	有識者(大学教授等)	有識者(大学教授等)	館林つつじサポーターズ倶楽部	群馬県邑楽館林振興局	群馬県館林土木事務所	館林市	館林市教育委員会
館林市議会																													
館林市区長協議会																													
館林商工会議所																													
邑楽館林農業協同組合																													
館林市観光協会																													
東武鉄道株式会社																													
有識者(大学教授等)																													
有識者(大学教授等)																													
有識者(大学教授等)																													
館林つつじサポーターズ倶楽部																													
群馬県東部振興局																													
群馬県館林土木事務所																													
館林市																													
館林市教育委員会																													
館林市議会																													
館林市区長協議会																													
館林商工会議所																													
邑楽館林農業協同組合																													
館林市観光協会																													
東武鉄道株式会社																													
有識者(大学教授等)																													
有識者(大学教授等)																													
有識者(大学教授等)																													
館林つつじサポーターズ倶楽部																													
群馬県邑楽館林振興局																													
群馬県館林土木事務所																													
館林市																													
館林市教育委員会																													

令和3年度 館林市「日本遺産」推進協議会委員名簿

役職	所属	氏名	備考
会 長	館林市長	多 田 善 洋	
副会長	館林つつじサポーターズ倶楽部 会長	河 本 榮 一	
副会長	館林市教育委員会 教育長	小 野 定	
監 事	邑楽館林農業協同組合 代表理事組合長	江 森 富 夫	
監 事	東洋大学 国際観光学部 国際観光学科 教授	古 屋 秀 樹	有識者
委 員	館林市議会 議長	野 村 晴 三	
委 員	館林商工会議所 会頭 館林市観光協会 会長	正 田 隆	
委 員	東武鉄道株式会社 鉄道事業本部 営業統括部 営業部 北関東営業支社 支社長	藤 原 榮 治	
委 員	高崎商科大学 特任教授	熊 倉 浩 靖	有識者
委 員	群馬県地域文化研究協議会 会長	前 澤 和 之	有識者
委 員	館林市区長協議会 会長	野 村 和 利	
委 員	群馬県東部振興局 振興局長	宮 川 博 之	
委 員	群馬県館林土木事務所 所長	小 竹 彰	

館林市「日本遺産」推進協議会規約

(名称)

第1条 この協議会は、館林市「日本遺産」推進協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目的)

第2条 協議会は、館林市の歴史文化の特色である里沼及び沼辺文化を物語る日本遺産を通じて、歴史文化の保存・活用、観光・産業振興、まちづくり及び人材育成等を行うことで、地域活性化につなげることを目的とする。

(事業)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 館林市の日本遺産の情報発信、人材育成に関すること。
- (2) 館林市の日本遺産の普及啓発に関すること。
- (3) 館林市の日本遺産の調査研究に関すること。
- (4) 館林市の日本遺産の公開活用のための整備に関すること。
- (5) 「日本遺産」を通じた地域活性化計画の評価及び検証に関すること。
- (6) その他、協議会の目的を達成するために必要なこと。

(組織)

第4条 協議会は、別表に記載する個人及び団体・組織等で構成する。団体・組織等においては、各団体・組織等から選出された者が構成員となる。

2 構成員の任期は3年とし、補欠構成員の任期は前任者の在任期間とする。ただし、再任を妨げない。

(役員)

第5条 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 監事 2名

2 会長は、構成員の中から互選する。

3 副会長及び監事は、会長が指名する。

(オブザーバー及びアドバイザー)

第6条 協議会にオブザーバー及びアドバイザーを置くことができる。

2 オブザーバー及びアドバイザーは、その専門性等を考慮し、必要な個人または団体・組織等を会長が指名する。

3 オブザーバー及びアドバイザーは、会長の求めにより、会議に出席し、意見を述べることができる。

(職務)

第7条 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

3 監事は、業務の執行状況及び会計について監査する。

(財務)

第8条 協議会の運営及び事業実施に要する経費は、補助金、貸付金、寄附金及びその他の収入をもってこれに充てる。

2 協議会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(会議)

第9条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が召集することとし、会長は、会議を主宰する。

2 会議は、構成員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

4 会議は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、説明又は意見を聞くことができる。

5 会議は、公開とする。ただし、個人の秘密を保つため必要があると認めるとき、又は会議の公正が害されるおそれがあると認めるときその他公益上必要があると認めるときは、この限りではない。

6 会長は、会議の終了後、速やかに議事録を作成し、これを公表する。ただし、非公開とした議事については、会議が当該議事録の公表を決めた場合を除き、公表しない。

(連絡協議会)

第10条 協議会の円滑な事業運営と、地域活性化及び市内の沼に関わる人をつなぐネットワーク形成を図るため、館林市ヌマベーション連絡協議会（以下「連絡協議会」という。）を置く。

2 連絡協議会運営に必要なことは会長が別に定める。

(事務局)

第11条 協議会及び連絡協議会の運営及び事業実施のため、館林市役所内に事務局を置く。

2 事務局運営に必要なことは、会長が別に定める。

(地域プロデューサー)

第12条 協議会及び連絡協議会で取組む事業の各分野において、館林市「日本遺産」地域プロデューサー（以下「地域プロデューサー」という。）を置く。

2 地域プロデューサー運営に必要なことは会長が別に定める。

(規約の変更)

第13条 この規約の変更は会議出席者の3分の2以上をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(解散)

第14条 協議会は、所期の目的を達したとき、構成員の総意に基づき、解散するものとする。

(委任)

第15条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、令和元年6月27日から施行する。

附 則

この規約は、令和3年9月1日から施行し、令和3年4月1日から適用する。

別表(第4条関係)

館林市議会
館林市区長協議会
館林商工会議所
邑楽館林農業協同組合
館林市観光協会
東武鉄道株式会社
有識者（大学教授等）
有識者（大学教授等）
有識者（大学教授等）
館林つつじサポーターズ倶楽部
群馬県東部振興局
群馬県館林土木事務所
館林市
館林市教育委員会



令和 2 年度事業報告について

期日	事業内容	備考
令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	各事業実施 【地域文化財総合活用推進事業】 ・人材育成事業 ・普及啓発事業 ・調査研究事業 【観光拠点整備事業】 ・情報発信事業 ・活用整備事業	別紙「令和 2 年度 主要事業報告」の とおり
令和2年 7月27日	第 1 回館林市「日本遺産」推進協議会 ・令和元年度事業報告について ・令和元年度収支決算報告について ・令和 2 年度収支予算の専決処分の報告について ・令和 2 年度事業計画（案）について ・館林市「日本遺産」推進協議会ロゴマークの選定方法について ・日本遺産「里沼」構成文化財の追加申請の検討に係る報 告について	つつじが岡公園 総合管理事務所 会議室
10月10～11日	日本遺産フェスティバルin今治 ・PRブース及び体験ブース等の出展によるPR	愛媛県今治市
11月5日	館林市ヌマベーション連絡協議会設立総会 ・連絡協議会が目指すもの ・地域プロデューサーからの取組報告 ・意見交換	ニューミヤコホ テルバンケット ホール
令和3年 2月21日	日本遺産シンポジウム「つなごう日本遺産～両毛 3 市の魅力 発信～」 ・両毛 3 市の日本遺産認定ストーリー紹介 ・オリジナルバレエ「里沼物語」 ・パネルディスカッション	館林市文化会館 カルピスホール
3月	第 2 回館林市「日本遺産」推進協議会（文書会議） ・令和 3 年度事業計画（案）について ・令和 3 年度収支予算（案）について	

令和2年度 主要事業報告

■歴史文化部会

(1) 「里沼」ランドナビゲーター育成支援事業【人材育成事業：文化振興課】

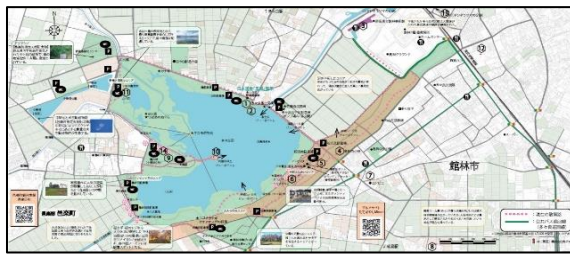
概要	<p>既存ガイド団体等と連携しながら、活動者に館林市の魅力を発信し、市内観光を総合的にプロデュースする人材を育成する事業。</p> <p>(1)里沼ランドナビゲーター育成講座①</p> <ul style="list-style-type: none"> ■日時:令和3年2月18日(木) ■参加:市内ボランティア活動者12名 ■内容:講義「日本遺産『里沼』で地域の魅力を伝えよう」(講師-為国孝敏氏) <p>(2)里沼ランドナビゲーター育成講座②</p> <ul style="list-style-type: none"> ■日時:令和3年2月24日(水) ■参加:市内でガイド活動に従事するボランティア・構成文化財所有者・関係者等35名 ■内容:現地学習(里沼ガイドのスキル・ノウハウ及び基礎知識習得) <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
事業費	265,918円

(2) 館林市「日本遺産」地域プロデューサー活動支援事業【人材育成事業：文化振興課】

概要	<p>情報発信・地域活性化・人材育成・観光・地場産業・歴史文化・地域特色(沼辺)における全7分野の事業展開を促進するため、館林市「日本遺産」地域プロデューサーの活動を支援する事業。</p> <p>(1)日本遺産「里沼」普及動画制作</p> <p>日本遺産「里沼」普及動画 ナマズでもわかる日本遺産「里沼」講座①～④を作成し、YouTube「日本遺産『里沼』ちゃんねる」及び館林市公式動画チャンネルで配信した。動画作成の過程で、館林市立第三中学校1年生総合学習と連携し実施した。</p> <p>(2)武鷹館イベント開催</p> <p>構成文化財である「旧館林藩士住宅」の所在する鷹匠町武家屋敷「武鷹館」及び「歴史の小径」エリアにおいて各種イベントを開催し、市内外の来訪者の満足度向上と体験型プログラム創出の実践を通して、次世代のまちづくりや観光を担う人材育成を図った。</p> <p>(3)里沼ガイド新ルート検討</p> <p>新たな観光ガイドルート創出を実践し、館林市に存在する日本遺産「里沼」構成文化財への来訪者誘致及び市内エリア回遊性の促進・増加を目指し、「里沼」とそのストーリーの魅力を伝える人材、次世代のまちづくりや観光を担う人材の育成・充実を図った。</p>
事業費	1,463,796円

(3) 官学連携「SATO-NUMA」事業【人材育成事業：文化振興課】

概要	<p>まちづくり・観光系学部がある大学(学生・留学生)と連携し、若者・外国人の意見を反映させながら、解説方法・内容を検討するワークショップを行う事業。</p> <p>東京電機大学との連携事業（茂林寺沼・多々良沼ガイドマップ検討委託業務）</p> <p>令和2年12月21日(月)、令和3年2月5日(金)に東京電機大学教員・学生と地元ボランティア団体代表による茂林寺沼及び多々良沼周辺マップ作成のためのワークショップを実施した。結果は、多々良沼マップを令和2年度、茂林寺沼マップを次年度に印刷製本して発行・配布する。</p>
事業費	500,000円



(4) 「里沼」体感！ワークショップ事業【人材育成事業：文化振興課】


概要	<p>館林市の「里沼」の魅力を感じ取るために、沼・つつじ・麦・館林紬等を使った各種体験型ワークショップ(カヌー・カヤック体験、ウォーキング講座、うどん打ち講座、着物でまち歩き+茶席&座禅、小物づくり講座等)を開催しながら、持続的に事業を開催・運営できる人材の育成に取り組む事業。</p> <p>里沼ワークショッププログラム検討</p> <p>里沼のヨシを使った体験プログラム（ヨシ紙漉き・葦簀づくり・ヨシ灯り工作等）を検討する業務。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、参加者を募集したワークショップ・体験講座の実施は求めないが、次年度以降の終息状況を見つつ、本業務で検討したプログラムの積極的な展開を図る。</p>
事業費	78,100円

(5) 館林市「日本遺産」展示会開催事業【普及啓発事業：文化振興課】

概要	<p>日本遺産「里沼」のPR、ストーリーの普及を目的とし、市内外で移動展示会を開催する事業。日本遺産「里沼」シンポジウム開催に合わせて「里沼のもてなし文化」エリアの拠点見学施設である鷹匠町武家屋敷「武鷹館」でも展示会を開催した。</p> <p>(1)移動展示会 [全8箇所 見学者合計13,000名]</p> <ul style="list-style-type: none"> ①日本遺産フェスティバルin今治 [令和2年10月10日(土)・11日(日)] ②第6回群馬フェア [令和2年10月30日(金)・31日(土)] ③ヌマベーション連絡協議会設立総会 [令和2年11月5日(木)] ④郷谷公民館まつり [令和2年11月7日(土)・8日(日)] ⑤西公民館移動展示 [令和2年11月10日(火)～30日(月)] ⑥群馬県庁県民センターPR展示 [令和3年1月15日(金)～3月15日(月)] ⑦館林市日本遺産シンポジウム展示 [令和3年2月21日(日)] ⑧東京2020五輪群馬県聖火リレー [令和3年3月30日(火)]
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>(2)日本遺産「里沼」展示会 [見学者合計414名]</p> <p>①鷹匠町武家屋敷「武鷹館」[令和3年2月20日(土)～3月14日(日)]</p>	
	
事業費	952,900円

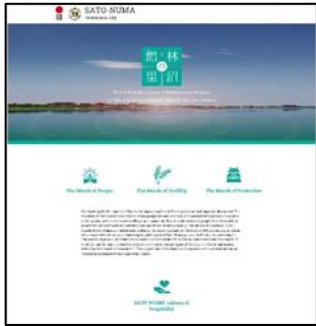
(6) 館林市「日本遺産」シンポジウム開催事業【普及啓発事業：文化振興課】

概要	<p>館林市近隣で日本遺産に認定となっている両毛地域3市の群馬県桐生市・栃木県足利市と連携して今後の日本遺産の魅力発信につなげることを目的とした事業。両毛3市長意見交換を行うとともに、「里沼」をモチーフとしたオリジナルバレエもあわせて披露した。</p> <p>令和2年度館林市日本遺産シンポジウム</p> <p>「つなごう日本遺産～両毛3市の魅力発信～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ■期日:令和3年2月21日(日) 13:30～16:00 ■参加:一般400名 ■内容:第1部 両毛3市の日本遺産認定ストーリー紹介(映像上映) 第2部 オリジナルバレエ「里沼物語」 第3部 パネルディスカッション その他 日本遺産マルシェ(両毛3市観光協会)、日本遺産PRブース展示
	
事業費	2,879,270円

(7) 館林市「日本遺産」戦略的マーケティング調査事業【調査研究事業：文化振興課】

概要	<p>館林市における日本遺産「里沼」を活かした歴史文化活用と観光地づくりのためのデータ収集を行う事業。</p> <p>日本遺産「里沼」満足度向上及びインバウンド指標設定調査</p> <p>令和元年度に実施したニーズ調査を踏まえて、日本人及び外国人(タイ)を対象としたインタビューを実施し、日本遺産「里沼」ストーリー及び構成文化財とその周縁の観光素材を組合わせたツアールート及び商品サービス造成を検討した。また、館林市で現状集計している観光入込客数では推計しきれない、日本遺産「里沼」の3つの沼を含めた来訪者数に加えて、外国人来訪者数やインバウンド推計のための指標設定調査も合わせて実施。</p>
事業費	1,980,000円

(8) 館林市「日本遺産」Webサイト開設事業【情報発信事業：文化振興課】

概要	<p>館林市「日本遺産」Webサイトを開設し、ストーリーや構成文化財の諸情報のほか、観光やアクセスマップ及び利便施設などの関連情報を公開し、国内外に向けて積極的なPRを実施する事業。令和2年度以降は、多言語・多文化化に取り組む。</p> <p>WEBサイト【多言語化・情報更新】構築</p> <p>令和元年度に開設した日本遺産「里沼」公式WEBサイト（通称「SATO-NUMA.JP」）を多言語化（英語・繁体字・簡体字）し、海外からの来訪者に対しストーリーや構成文化財の情報を分かりやすく公開するとともに、既に公開している観光やアクセスマップ及び利便施設などの関連情報を新規更新することにより、国内外に向けて最新の情報を積極的にPRした。館林市「里沼」の魅力や特色が十分伝わり、必要な情報がどこにあるのかが分かりやすく、見やすい構成・デザインであること目指し、トップページ以下、複数の階層を設け、画像を多くかつ効果的に使用し、閲覧者の視覚に訴えるものであること。また、動画の配信にも対応した。多言語化においては、複数のネイティブによるチェックを行い、より現地人の感覚に近いものとなるよう配慮した。</p> 
事業費	990,000円

(9) 案内板・サイン整備改修事業【活用整備事業：文化振興課】

概要	<p>来訪者が「里沼」のストーリーや各構成文化財について理解を深められるように案内板等を整備する事業。</p> <p>(1)武鷹館「里沼」屋外サイン改修</p> <p>「里沼のもてなし文化」エリアの拠点施設である鷹匠町武家屋敷「武鷹館」に日本遺産「里沼」をPRするサインを新設した。サインには日本遺産「里沼」概要ストーリーの他、構成文化財である「旧館林藩士住宅」の説明を記載した。</p> <p>(2)日本遺産「里沼」ストーリー解説サイン設置</p> <p>日本遺産「里沼」で位置づけた“守りの沼”＝城沼に2基、“里沼のもてなし文化”エリアに1基、「里沼」解説サインを新設した。サインでは左面で共通事項として「里沼」ストーリー概要を記し、右面で各沼の詳細ストーリーと構成文化財を掲載し、WEBサイトのQRコードを入れ込むなど、データ連動ができるよう配慮した。</p> <p>(3)日本遺産「里沼」デジタルサイネージ設置</p> <p>館林市内（東武鉄道館林駅連絡通路、館林市文化会館、館林市第二資料館、つつじが岡ふれあいセンター）に日本遺産「里沼」ストーリー解説用デジタルサイネージを設置。サインでは、館林市＝「里沼」のまちであることをPRしながら、サイン板面に記載できない情報についてはQRコードから「里沼」公式WEBサイトへ誘導する仕組みを導入した。また、広域案内図の中に各沼や構成文化財位置一覧を落とし込み、多言語化にも対応した。なお、サインデザインについては、地元で活動する文化財普及団体の代表者及び関東学園大学附属高等学校生徒会でワークショップの内容を反映した。</p> <p>(4)日本遺産「里沼」ストーリーサイン貼替</p> <p>“守りの沼”＝城沼を物語る館林城跡のある館林市文化会館及び日本遺産「里沼」構成文化財4点を常時展示する公開施設である館林市第一資料館への誘導を図るため、三の丸土塁サインのリニューアルを行った。</p>
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	
事業費	3,316,900円

(10) 館林市まちじゅう「日本遺産」PR事業【活用整備事業：文化振興課】


概要	<p>館林市まちじゅう日本遺産「里沼」PR大作戦と称しPR媒体を作成し、市内外の人々に視覚的に訴求するようなPR媒体の製作、設置・配布を実施する事業。</p> <p>(1)「里沼」幟旗製作 「里沼」PRを目的とした幟旗の製作・配付。構成文化財関係・公共イベントへ使用するほか、市内分散型小店舗(食堂組合)にも設置協力いただき「里沼」PRを図った。</p> <p>(2)「里沼」タペストリー製作 日本遺産「里沼」PRを目的としたオリジナルタペストリーの製作・配付。これまで日本遺産「里沼」事業に関わる余地がなかった、主にまちなかの民間事業者(店舗・企業)に配付を行い、「里沼」普及と協力者の獲得強化に努めた。</p> <p>(3)「里沼」QRステッカー製作 「里沼」QRコード入りステッカーの製作し普及のため広範囲に配付した。</p> <p>(4)「里沼」PRバナー製作 「里沼」PRのための移動式バナースクリーンの製作を行った。日本遺産「里沼」関係の記者会見や外部出張イベント時に使用し、日本遺産「里沼」を広くPRする。</p>
	
事業費	2,157,000円

(11) 館林市「日本遺産」Wi-Fi環境整備事業【活用整備事業：文化振興課】

概要	<p>将来的なAR導入に向けて、拠点見学施設へのWi-Fi環境を整備する事業。</p> <p>(1)日本遺産「里沼」情報アクセス整備・ARコンテンツ制作 館林市に存在する日本遺産「里沼」構成文化財への来訪者誘致及び市内エリアの回遊性の強化を目指し、「里沼」とそのストーリーや魅力の理解促進を図るため、来訪者への情報発信、情報コンテンツ制作・整備を行った。次世代の若者の意見・検討を取り入れたうえで、「里沼」の魅力発信や観光・まちづくりの観点から市内の地域活性・観光振興に資するツールを製作するもので、館林市「里沼」の普及促進を図る。</p> <p>(2)日本遺産「里沼」AR用多言語コンテンツ制作業務 令和2～3年度で構築するAR(拡張現実)システムにおいても多言語化・多文化化を進めるため、ストーリー解説などの基本コンテンツの多言語化を行った。</p> <p>(3)日本遺産「里沼(SATO-NUMA)」構成文化財関連施設Wi-Fi環境充実整備 将来的なAR導入に向けて、日本遺産「里沼」に位置付けた各沼の拠点見学施設等へのWi-Fi環境整備を進めた。各所にQRコード等を貼付し、「里沼」公式WEBサイト上の構成文化財情報も確認できるようになった。</p>
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	
事業費	3,649,500円

(12) 日本遺産サミット等開催事業【その他事業：文化振興課】

概要	<p>日本遺産フェスティバルin今治</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 期日：令和2年10月9日(金)～11日(日) ■ 参加協議会数：71団体 [認定協議会68団体、その他関係団体3団体] ■ 来場者数：総計約6,500人 [10日3,000人、11日3,500人] ※館林ブース訪問者数：総計約2,000人 [10日800人、11日1,200人] ■ 内容：①オリエンテーション ②PRブース(日本遺産検定含む)、シンポジウム等 ③日本遺産連盟総会
	
事業費	298,760円

■観光産業部会

(1) 館林市「日本遺産」ブランド開発事業【人材育成事業：商工課】

概要	<p>ロゴマークや商品開発など、学校との連携による地域の若者の人材育成や「里沼」への関心度向上につなげる事業。</p> <p>(1)群馬県立館林商工高校連携事業 里沼ロゴマーク作成</p> <p>令和元年度に群馬県立館林商工高等学校の生徒が作成したロゴデザイン7作品の中から、市民投票で最も得票数が多かったものを、館林の「里沼」ロゴデザインとして採用した。</p> <p>(2)ロゴデザイン編集改良</p> <p>市民投票により決定したロゴデザインを一層魅力のあるロゴデザインにするために編集改良を実施した。</p>
事業費	84,150円



(2) 館林市「日本遺産」旅客ニーズ調査事業【調査研究事業：つつじのまち観光課】


概要	<p>在京旅行会社及びメディア関係者を対象に、「里沼」(茂林寺沼、多々良沼、城沼)を周遊しながら歴史・文化、食、体験型プログラム等の体験を通して、将来的なインバウンド増加を目的としたニーズ収集や課題解決に繋げるための調査事業。</p> <p>里沼巡りモニターツアー実施によるニーズ調査</p> <p>「里沼」の3つの沼(茂林寺沼・多々良沼・城沼)を巡りながら、歴史・文化や食、体験型プログラムなどを体験し、将来的な来訪者増加を目的としたニーズ収集や課題解決につなげるための調査ツアーとして、「里沼」に関わる食文化をテーマに産業観光のニーズ調査を行った。</p>
事業費	400,000円

(3) 館林市「日本遺産」パンフレット作成・多言語化事業【情報発信事業：つつじのまち観光課・文化振興課】

<p>(1)館林市観光ガイドブック(TATEBAYASHI TRIP)印刷</p> <p>令和元年発行した館林市観光ガイドブック(TATEBAYASHI TRIP)をベースに掲載情報の更新を行い、更なる観光客誘致に向けたガイドブックの印刷・発行を行った。当該ガイドブックについては、市内各拠点・店舗等のほか、観光イベント等でも配布している。</p> <p>■発行:10,000部、B5判×32頁(オールカラー)</p> <p>(2)館林市観光ガイドブック(TATEBAYASHI TRIP)印刷(増刷)</p> <p>■発行:20,000部、B5判×32頁(オールカラー)</p>

概要	<p>(3)日本遺産「里沼」(城沼)を歩く印刷 ■発行:10,000部、特殊W790×H250mm(折本)×両面(オールカラー)</p> <p>(4)日本遺産「里沼」(多々良沼)を歩く印刷 ■発行:18,000部、特殊W790×H250mm(折本)×両面(オールカラー)</p> <p>(5)「里沼の歴史的建造物」パンフレット印刷 ■発行:6,000部、A5判×16頁(オールカラー)</p>	
	  	
事業費	2,473,900円	

(4) 麦食・川魚食文化PR事業【活用整備事業：商工課】

概要	<p>「里沼」の実りを象徴する麦関連食品(うどん・ラーメン・菓子)や川魚食文化(鯰・鯉・鮒・鰻等)のPR(広告宣伝・イベント実施)を行う事業。</p> <p>(1)日本遺産認定プレート用付属品作製 令和元年度に作製した、「館林のうどん」「川魚料理」と題した日本遺産認定プレート(35枚)を各店舗で設置する際、縦置き式を可能とする取付ピン(140個)を作製して配付した。</p> <p>(2)「百年小麦・里沼」グルメガイド作製 「里沼」の実りを象徴する麦関連食品(うどん・ラーメン・菓子)の事業者によって組織された「百年小麦」ブランド化委員会と群馬県立館林商工高等学校の課題研究グループ「百年小麦PR班」の連携によって、「百年小麦」を使用した商品を購入できるグルメガイド(5,000部)を作製し、配付した。</p>	
		
事業費	500,000円	

令和2年度収支決算報告について

【収入の部】

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補助金交付後 予算額(B)	決算額 (C)	差引額 (C)-(B)	備考
補助金	27,765,000	26,705,000	22,915,607	△ 3,789,393	
国庫支出金	21,639,000	20,600,000	17,409,418	△ 3,190,582	文化庁補助金
市補助金	6,126,000	6,105,000	5,506,189	△ 598,811	
貸付金	21,639,000	20,600,000	20,600,000	0	市貸付金
雑入	1,000	1,000	221	△ 779	預金利子等
合計	49,405,000	47,306,000	43,515,828	△ 3,790,172	

【支出の部】

(単位：円)

科目	当初予算額 (D)	補助金交付後 予算額(E)	決算額 (F)	不用額 (E)-(F)	備考
事業費	26,560,000	25,500,000	21,990,194	3,509,806	別紙「令和2年度主要事業報告」のとおり
人材育成事業	5,200,000	3,700,000	2,391,964	1,308,036	
普及啓発事業	5,000,000	5,000,000	3,832,170	1,167,830	
調査研究事業	1,900,000	2,400,000	2,380,000	20,000	
情報発信事業	4,000,000	4,000,000	3,463,900	536,100	
活用整備事業	10,060,000	10,000,000	9,623,400	376,600	
その他事業	400,000	400,000	298,760	101,240	
事務費	1,205,000	1,205,000	925,634	279,366	
貸付金返還費	21,639,000	20,600,000	20,600,000	0	市貸付金返還
予備費	1,000	1,000	0	1,000	
合計	49,405,000	47,306,000	43,515,828	3,790,172	

収入決算額	43,515,828円
支出決算額	43,515,828円
差引	0円

監 査 報 告 書

令和2年度館林市「日本遺産」推進協議会の収入支出決算について、館林市「日本遺産」推進協議会規約第7条第3項の規定に基づき、会計諸帳簿及び証ひょう書類を監査した結果、いずれも適正に処理されていたことを確認しました。

令和3年 5 月 31 日

館林市「日本遺産」推進協議会

監事 江森富夫 

令和3年 6 月 2 日

館林市「日本遺産」推進協議会

監事 石屋秀樹 

日本遺産「里沼」構成文化財[4項目]の追加認定について(報告)

令和元年度文化庁「日本遺産」に認定された【里沼(SATO-NUMA)―「祈り」「実り」「守り」の沼が磨き上げた館林の沼辺文化―】ストーリーの構成文化財38項目に新たに4項目が追加認定されました。今回、構成文化財に4項目が追加されることにより、今まで以上にストーリー内容の充実を図ることができます。

認定後、構成文化財所有者や関係者と人材育成や普及啓発、情報発信等さまざまな事業に取り組んで参りましたが、今回新たに追加認定された構成文化財に関しても所有者や関係者等と連携を図り、地域の魅力を幅広く発信していけるよう、各種事業に取り組んで行く予定です。

1 追加認定の名称及びストーリーの中の位置づけ

(1) 蛇沼及び間堀遺跡出土品

館林市の南部にあり、「祈りの沼」茂林寺沼の東部にある周囲約1kmの細長い沼。蛇沼周辺には湿原が残り「里沼」の原風景を残すとともに、隣接する台地上には縄文時代から続く間堀遺跡がある。出土品の縄文土器群は多彩な装飾を持ち、沼辺で生きた縄文人の暮らしと「祈り」の心をうかがい知ることができる。

(2) 近藤沼(ホリアゲタ)

館林市の南西部にある周囲約2.5kmの沼で、明治時代に造成された櫛の歯状の水田と水路が存在した。沼底の土を掘り上げて造ったことから「ホリアゲタ」(別名キロコボリ)と呼ばれ、多々良沼同様「実りの沼」として暮らしを支えてきた。沼辺に建つ「吉田丑五郎翁之碑」がその歴史を伝え、周辺の農地に名残の水路を見ることができる。

(3) 長良神社と館林城下町の総構え

「守りの沼」城沼を要害とした館林城下町の西北端に鎮座し、周囲には総構えの土塁と堀を利用した水路が残る。長良神社は中世から館林とその周辺に広く分布し、祭神の藤原長良が水辺に棲む大蛇を退治したという伝説を持つ。中世・近世の館林地域の沼辺の開発と城下町建設につながる「里沼」の歴史を伝えている。

(4) 織姫神社と館林紬

館林地域は江戸時代から綿花栽培が盛んで、農家の副業として機織りが行われ、城下町には多くの綿屋商人がいた。明治時代以降、城下町に織物組合が結成されて町内に織姫神社を祀るとともに、「里沼」のもてなし文化を支えた様々な織物が生まれ、なかでも「館林紬」は今も続く伝統工芸品となった。

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の 所在地 (※4)
③9	蛇沼及び間堀遺跡出土品	未指定 (名勝地・考 古資料)	館林市の南部にあり、「祈りの沼」茂林寺沼の東部にある周囲約1kmの細長い沼。蛇沼周辺には湿原が残り「里沼」の原風景を残すとともに、隣接する台地上には縄文時代から続く間堀遺跡がある。出土品の縄文土器群は多彩な装飾を持ち、沼辺で生きた縄文人の暮らしと「祈り」の心をうかがい知ることができる。	館林市第一資料館 (間堀遺跡出土品)
④0	近藤沼 (ホリアゲタ)	未指定 (名勝地)	館林市の南西部にある周囲約2.5kmの沼で、明治時代に造成された櫛の歯状の水田と水路が存在した。沼底の土を掘り上げて造ったことから「ホリアゲタ」(別名キロコボリ)と呼ばれ、多々良沼同様「夾りの沼」として暮らしを支えてきた。沼辺に建つ「吉田丑五郎翁之碑」がその歴史を伝え、周辺の農地に名残の水路を見ることができる。	
④1	長良神社と館林城下町の 総構え	未指定 (建造物・ 遺跡)	「守りの沼」城沼を要害とした館林城下町の西北端に鎮座し、周囲には総構えの土塁と堀を利用した水路が残る。長良神社は中世から館林とその周辺に広く分布し、祭神の藤原長良が水辺に棲む大蛇を退治したという伝説を持つ。中世・近世の館林地域の沼辺の開発と城下町建設につながる「里沼」の歴史を伝えている。	
④2	織姫神社と館林 紬	未指定 (建造物・ 民俗)	館林地域は江戸時代から綿花栽培が盛んで、農家の副業として機織りが行われ、城下町には多くの綿屋商人がいた。明治時代以降、城下町に織物組合が結成されて町内に織姫神社を祀るとともに、「里沼」のもてなし文化を支えた様々な織物が生まれ、なかでも「館林紬」は今も続く伝統工芸品となった。	

(※1) 文化財の名称には適宜振り仮名を付けること。

(※2) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること(例:国史跡、国重文(工芸品)、県史跡、県有形、市無形等)。

(※3) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること(単に文化財の説明にならないように注意すること)。

(※4) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること(複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること)。

(様式3-2)

構成文化財の写真一覧

③9 蛇沼及び間編遺跡出土品



④1 長良神社と館林城下町の総構え



④0 近藤沼 (ホリアゲタ)



④2 織姫神社と館林紬

